

# お知らせ

INFORMATION

No.2024-38

2024年12月

病体生理研究所

## 嫌気ポーター変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。



平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。

この度、「嫌気ポーター」について現行品のメーカー販売終了に伴う、取扱い製品の変更について御案内いたします。何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

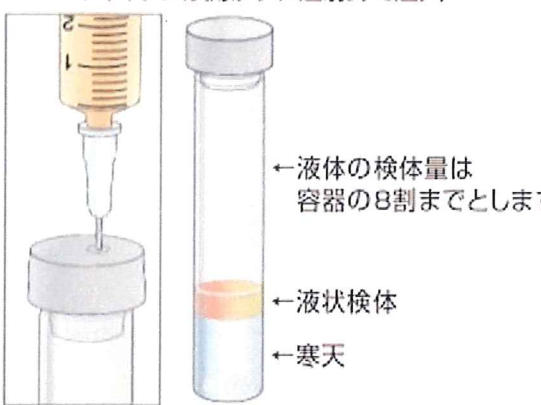

### 【嫌気ポーターの変更について】

嫌気ポーター（細菌⑦）		検査案内 P.110
変更箇所	新	旧
容器画像		
培地成分	寒天、塩化ナトリウム、リン酸塩等	レザズリン入寒天
有効期限	製造後 6 ヶ月	製造後 2 年
販売元	栄研化学株式会社	テルモ株式会社

※旧容器でのご提出も可能です

《提供開始日》 旧容器の在庫が無くなり次第変更させていただきます。

## ●新容器の使用法

液体検体(穿刺液、消化液等)	固形検体(膿、糞便、組織片等)
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 穿刺部(ゴムキャップ上の小円)を消毒用アルコール綿等で消毒します。</li> <li>② <b>注射針を穿刺部に垂直に穿刺し、液体検体を注入します。</b></li> <li>③ チューブラベルを貼付し輸送してください。</li> <li>④ 検体は速やかに検査してください。 やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ゴムキャップを消毒用アルコール綿等で消毒します。</li> <li>② ゴムキャップを外し、固形検体を入れます。 <b>検体は寒天の奥まで挿入してください。</b> ※綿棒は長さ7cmまで入ります。 それ以上のものは切断してください。</li> <li>③ ゴムキャップを速やかにしっかり閉めます。</li> <li>④ チューブラベルを貼付し輸送してください。</li> <li>⑤ やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。</li> </ol>
<p style="text-align: center;">↓キャップは開けずに注射針で注入</p>  <p style="text-align: center;">←液体的検体量は 容器の8割までとします。</p> <p style="text-align: center;">←液状検体</p> <p style="text-align: center;">←寒天</p>	<p style="text-align: center;">例:ガーゼや滅菌綿棒で拭った検体(*)</p>  <p style="text-align: center;">←検体を培地中に埋め込む</p> <p style="text-align: center;">※酸素侵入による培地の着色機構はありません。</p>

(\*) 検体を採取したガーゼは、滅菌ハサミで容器に入る大きさにカットしてください。

ガーゼや滅菌綿棒で採取した検体が寒天の中に埋まるように入れてください。

寒天の中に入れることにより嫌気状態が維持され、嫌気性菌の死滅を防ぎ、培養検査での検出率の低下を防ぎます。

以上